

XBRL Japan アカデミックコンペティション 審査結果 (報告)

2011年2月7日

アカデミックコンペティション審査委員会

審査経過・結果

本コンペティションでは、XBRLに関わる次代の人材の斬新なアイデアとそれを実現する開発力を称えることを目的として、2010年11月10日に公募を開始し、2011年1月10日を期限として成果物の提出を求めた。XBRL Japanでは初めてのコンペティションであり、周知期間も短かったが、結果、7件の応募があった。

XBRL Japan 教育委員会のもとに組織した審査委員会では、1月18日に応募者から提出された書面(および応募者のWEBサイトによる公開情報)による成果物を評価した。その際には、本コンペティションの目的に合わせて、応募作品等がXBRLの普及に資すること、および(現時点ではシステムはプロトタイプでよいが)提案されたアイデアに基づくシステムが実用的であり、その有効性が確認できることを評価の基準とした。さらに、本コンペティションが、自らがXBRLの発展のための課題を設定してその解決策を与えることのできるアカデミック研究開発人材を育成するという側面を考慮した。

応募作品7件のうち、上記基準に合致する成果物は2件であると判断された。それら以外の5件については、有効性が確認できるものとはいえない、既存の類似ツールとの顕著な違いやアイデアが見られない、といった理由から選定されなかった。以上の判断に基づき、優秀な成果物と評価できる候補の2件については、さらに応募者から直接、説明を受けることとした。

2月7日の審査委員会では1月18日の審査委員会で行った書面等による評価結果をもとに、

- ・ 井田正明氏 「国立大学法人の財務諸表へのXBRLの導入」
- ・ 武井好太郎氏(代表) 「EDINET WEB API を用いた企業分析支援ツール」

の2件について、応募作品の説明を求め、関連の質疑を行った。書面審査、および応募者からの説明等をもとに、審査委員会において、上記2件の成果物を慎重に審査し、以下の通り決定した。

最優秀賞

「EDINET WEB API を用いた企業分析支援ツール」

武井好太郎（慶應義塾大学 総合政策学部）

廣瀬隼也（慶應義塾大学 政策・メディア研究科）

清水智公（嘉悦大学 情報メディアセンター）

選定理由：本成果は、すでに金融庁で公開されている EDINET の XBRL データを分析するための支援ツールを WEB アプリケーションとして実現したものである。EDINET からのインスタンスの取得のための WEB API を開発するとともに、関心のある複数企業のインスタンスから横断的な比較分析を行うための支援ツールを提供している。EDINET の現状の課題を的確に把握し、それを解決するためのツールの開発は高く評価できる。これによって、XBRL による企業情報の利用が促進されるとともに、さらなるアプリケーションの開発による XBRL の普及が期待できる。

優秀賞

「国立大学法人の財務諸表への XBRL の導入」

井田正明（独立行政法人 大学評価・学位授与機構）

選定理由：本成果は、国立大学法人において用いられる「国立大学の財務諸表」に対する XBRL タクソノミを提供して、各法人が財務諸表を公表する際の便宜を図るとともに、大学間の比較分析にも役立てようとする試みである。国立大学法人の財務諸表は一般企業のものとは語彙や標記順序等で異なっており、タクソノミ開発にあたっては、この特殊性に対応しつつも、企業のものとの整合性を保持している。開発されたタクソノミは日本語と英語に対応するなど、完成度が高く、新たな分野への XBRL の導入への途を拓くものと高く評価できる。また、本成果物が国立大学法人に普及することも期待できる。

審査委員

武市正人 (XBRL Japan 教育委員会委員長、東京大学教授)

水谷 学 (XBRL Japan 教育委員会担当理事、公認会計士、PCA 株式会社代表取締役社長)

白田佳子 (XBRL Japan 教育委員会委員、筑波大学教授)

筏井大祐 (XBRL Japan 総務・経理担当理事、公認会計士、有限責任 あずさ監査法人)